

第1回
エントリー
企業④

株式会社 プロシード

第1回合同記者発表会（平成24年10月25日開催）

発表商品名 『マルチリンガル絵カード』

教育教材、教育用品の販売をしている有限会社プロシードでは、日本初（自社調べ）の「日本語、英語、中国語、韓国語」を学べるマルチリンガル絵カードを新発売しました。

代表取締役である森さんは「日本でいちばんやさしく学べる教材です」と、全国展開を目指しています。



経営革新計画の承認を
目指そう！

きっかけは外国語を学ぼうと取り組みだした森さん自身の苦労からでした。

「会話の前に、まず単語がわから

ないことには話にならない」

そう語学の習得の難しさを痛感し「それにはうちで扱っている『絵カード』が有効な勉強法なのではないか」と思いました。しかし外国語の絵カード、特に新興国のものなどは商品自体がほとんどありません。だったら自分で作ろうと思い立

った森さん。
「どうせ作るなら、社会に貢献できるイノベーション製品となるよう経営革新計画の承認を目指そう」と、当所経営支援員、専門家からの熱心な指導を受けて経営革新計画を作成。岐阜県知事承認を受けました。

ニッチな市場に進出可能な、
新規性のある商品になりました。

学習用のカードとしては、個人

学習用の小型の英単語の暗記カードが一般的に販売されていますが、学習塾用の教材として、大きいサイズでしかも英語以外の言語の絵カードというカテゴリーの商品は

市場に流通していないようでした。森さんが学習塾を訪問し聞き取りをしたところによると、学生にやる気を起こさせたり、わかりやすく学習をさせるための手段として、この

商品のようなアイテムに興味を持っていることがわかったそうです。

個人の学習塾では、このようなアイテムが必要な場合、何かの教材から切り取って台紙に貼るなど、自分で作成している場合もあるようで、もちろんクオリティも低く、何と言っても作成時間がかかります。著作権の問題なども出てくることも面倒なようです。大手学習塾に至っては、指導システムを開発し他の塾へ販売するビジネスを展開しているところもあるようです。ただ高額なので、余裕のある学習塾しか導入できないでしょう。そのあたり、この森さんの開発教材は汎用性があり、一般顧客が

利用しやすいよう3,000円前後の価格帯で販売予定に設定しました。

製作コストの面からも大手出版社などには開発しにくい分野であるとも考えられます。生徒用の教材は、製作コストがかかっても生徒分の数量がまとまるため、売り上げを見込めるが、学習塾に対しては1教室あたり1セットあればよいというマーケットが小さすぎる。このため市場には同類の商品が今まで流通しにくかったでしょう。小ロット販売が可能である森さんにとってはニッチな市場に進出が可能だと確信しました。

今後更に活用法が広がる可能性もあります

この商品は子どもに愛着を持ってもらえるイラストが採用されており、これを活用し、例えば日本語の苦手な外国の方が医療機関などで自分の意思を伝える手段として活用できるのではないのでしょうか。そのような商品をはじめ、学習教材以外にもまだまだ広がる可能性が考えられます。



当所担当
経営支援員
市川元英



代表取締役
森 正彦 氏

この絵カードは、はさみがなくても手で切り取れ、キャラクターやイラストがいっぱい入っていて楽しくどんどん覚えることが可能。飽きがこなく学習が持続できるのが特徴です。

主に幼児を対象にした英語絵カードが基本ですが他の外国語も一緒に学べる工夫がしてあります。1冊には「英語、日本語、韓国語、中国語」の4か国語の約3,000語の単語が入っており、そのなかでも韓国語・中国語には発音記号が入れてあります。

幼児教育からシルバー世代でも十分使える製品です。是非一度、お問い合わせください。



〈商品概要〉
初級者向けオリジナル知能教材
Multilingual Picture Cards
販売価格: 2,980円(税込)
別売りでヒアリングCD
英語 韓国語 中国語
それぞれ各2枚 1枚500円(税込み)
文部科学省 英語ノート準拠
岐阜県知事承認 毛振第367号 経営革新開発商品

〈会社概要〉
有限会社プロシード
代表取締役 森 正彦
事業内容 教育教材、教育用品の販売
〒500-8262 岐阜市茜部本郷2-48
Tel.058-274-2391 Fax.058-272-2175
E-mail proceed@aioros.ocn.ne.jp
http://proceedx.com/